資 料 5

令和８年８月２４日
高齢者施策推進担当

令和８年第２回港区議会定例会における「地域包括支援センター関連」の主な質疑について

令和８年第２回港区議会定例会について、令和８年６月１６日（火）から６月２５日（木）までの期間、開会されました。

同期間中、地域包括支援センターに関する議員による質疑がありましたので、主な内容について報告いたします。

一般質問（区長による答弁）

白石 さと美 議員（港区保守系議員団）【６月１６日（火）】

訪問介護職員等の安全確保について

６月のはじめ埼玉県川口市において、利用者宅を訪問していたケアマネジャーが殺害されるという大変痛ましい事件が発生した。

１　区として、ケアマネジャーや訪問介護職員等に対する利用者や家族からの暴力行為やハラスメント等について、どのように把握されているのか。

また、今回の事件や国の通知を受け、区内介護事業所における安全確保上の課題や支援ニーズについて改めて実態把握を行う考えはあるのか伺う。

【答弁】

区では、高齢者相談センターが主催する地域ケア会議において、ケアマネジャーや介護従事者などが個別ケースの対応方針を検討する中で、在宅介護に従事する上でのリスクの把握と共有を図っております。

しかし、埼玉県川口市の事案のように、利用者や家族との関係の中で対応に配慮を要する事例は表面化しにくい側面があることから、改めて実態の把握を進めるため、区は、今月中に港区介護事業者連絡協議会などを通じて、安全確保上の課題や支援ニーズについて共有してまいります。

２　介護サービスを安定的に提供していくためには、現場で働く方々が安心して業務に従事できる環境を整えることが不可欠である。複数人での訪問体制の確保も含め、介護従事者の安全確保に向けて区として今後どのように取り組んでいくのか伺う。

【答弁】

高齢者相談センターでは、警察や医療機関と連携し、ケアマネジャーなどからの困難事例の相談に応じております。

介護事業者からカスタマーハラスメントに関する相談を受けた場合は、国や東京都のマニュアルに沿って助言するとともに、弁護士などによる専門相談につなげております。

埼玉県川口市の事案を受け、改めて、介護事業者に対し、区の相談支援体制を周知

するとともに、東京都の補助制度を活用した複数人での訪問や防犯機器の導入など、安全確保策の強化を促してまいります。

　引き続き、介護事業者が利用者宅を訪問する際の状況把握に努めるとともに、介護従事者の不安の声を聴取し、スケッターの活用も含め、介護サービスを安心して提供するために必要な方策を検討してまいります。